



近代都市と自然が共存するバンクーバー

原田ジェームス健治さん(平泉東)



故郷：カナダ、ブリティッシュコロンビア州バンクーバー市

私の故郷バンクーバー市は、トロント、モントリオールに次ぐカナダ第三の都市で、西海岸に位置しています。探検家ジョージ・バンクーバーの名前をとり1867年に誕生した比較的新しい都市ですが、カナダ最大の港があり商業地域として発展してきました。

温暖な気候、美しい風景、ウィンタースポーツに最適な立地条件などから、観光客も多く訪れます。2010年には、冬季オリンピックが開催される予定です。

バンクーバーには、多種多様な人種がいます。私は子どものころ、様々な人種の友人がいて友人の家の夕食に呼ばれることがいつもとても楽しみでした。というのは、どのような料理

が出されるか想像も出来なかったからです。一番エキゾチックだったのは、ペルシャ料理(イラン料理)です。ギリシャ料理に似ているのですが、少し違う味付けで、とてもおいしかったことを覚えています。私は色々な言葉を耳にし、それぞれの家庭の文化を知ることが出来ました。

バンクーバーは、海と山どちらにも近く、市の中心部から40分ほどのところに3つのスキー場があり、市内には海岸が数多くあります。私は、イングリッシュベイという海岸へ散歩に行き、夕日が沈むのを見てストレスから解放されたり、サイプレス山に行き、バンクーバー中心部の壮観な眺めを楽しんだりしました。

もっとも、バンクーバーのすべてが素晴らしいわけではありません。人口過密のため物価が高かったり、日本よりは治安が悪く気をつけなければならない地域があったり、海や山に近いので雨が多く降ったりします。しかし、これらのことをわかった上で住むなら、都市生活と美しい自然環境の両方を楽しめる大変住みやすい良いところだと思います。

バンクーバーに生まれ育ったことは、私にとってとても幸運でした。異文化への正しい理解や、非日常的な事態に対処するための知恵が身につき、日本で暮らすための準備が出来たからです。故郷の色々なことを思い出し、恋しく思うこともあります。もし神栖を離れたら神栖のことも恋しく思うでしょう。私は、どこに住んでいても、共通する良いことや悪いことがあると学びました。もしあなたがバンクーバーに行く機会があったら、目を開き、心を開いてみてください。私の意味することが分かるでしょう。

★English version(英語版) <http://www2.ocn.ne.jp/~jimken/vancouverarticle.htm>



ミニギャラリー

今回はガラスアート作品を紹介します



「ウェルカム」
渡邊治美(土合中央)



「クジャク」
名雪美智子(大野原)



「夏の思い出」
島田雅代(矢田部)